

数え100歳おめでとう

「一宮市と同級生」 市長 河村さんを祝福



オンラインで交流する河村さん
と中野市長＝一宮市役所で

一宮市内に住む長寿のお年寄りと、中野正康市長との交流が二十八日、オンラインで行われた。十二月で九十九歳となる河村やま子

さん＝同市大江＝は「ここまで生きてこられたのは、みなさんのおかげ」と笑顔で語った。その年に数え年で百歳を

迎える人を祝い、市長が訪問するのが恒例だったが、今回は新型コロナウイルスの感染症対策のため、特別養護老人ホームに入所する河村さんとオンラインで結んだ。

河村さんは江南市出身。若くして亡くなった姉の二人の子どもを含めて、六人の子を育て上げた。苦勞話はあまりせず、「優しくして良い子に育ってくれたよ」と振り返った。孫は十三人、ひ孫も二十四人まで増えたという。

現在は、コロナ禍の影響で外出できないが、家族に買ってもらったテレビで、相撲や演歌番組を楽しむ。何でも食べることが健康の秘訣として、「三食のご飯

とおやつが楽しみ。みんな残さずよばれます」と笑顔。「早くコロナが収束して、外で食事ができるようになったらいいな」と願った。

中野市長は「百歳おめでとう

とつぎぎいませす。市制百周年を迎えた一宮市と同級生ですね」と祝福した。十五日時点で、市内には数え百歳が百人おり、市は商品券二万円分を贈る。

(猿渡健留)